

Chiba Rosai News

千葉ろうさいニュース

Vol.11

平成28年7月1日



形成外科・皮膚科・泌尿器科・歯科口腔外科医師

目次

2・3

診療科のご案内

泌尿器科部長 始関 吉生
泌尿器科副部長 清水 亮行
形成外科部長 力久 直昭
歯科口腔外科副部長 伊豫田 学
皮膚科医師 及川真喜子

4

最新かつ高性能な放射線治療装置 (TrueBeam) が導入されました!

5

市民公開講座 地域医療連携室のご紹介

地域医療連携部看護師長
窪岡 陽子

6

ろうさい mini News

患者情報・図書コーナーのご紹介
患者さんへのお願い

7

連携登録医のご紹介

三橋歯科医院

8

当院の理念

リハビリ美術館

当院の形成外科・皮膚科・泌

過活動膀胱について

テレビCMで「過活動膀胱かもしれません」と報道されています。過活動膀胱は症状によって診断される病態です。尿意切迫感を必須とした症状症候群であり、通常は頻尿と夜間頻尿を伴うものです。必ずしも尿失禁を伴うものではありません。

過活動膀胱の原因として、神経が原因の上位中枢障害（脳血管障害、パーキンソン病、認知症など）や脊髄の障害（脊髄損傷、頸椎症、脊柱管狭窄症、後縦靭帯骨化症、二分脊椎など）があります。神経が原因でない非神経因性として、下部尿路閉塞、加齢、骨盤底の脆弱化や特発性（原因がはっきりしないもの）があります。多尿（飲水量が多く排尿量が多い状態）や心因性頻尿などは除外されます。治療とは行動療法と薬物療法が主体となります。生活指導としては、過剰な水分摂取やカフェイン摂取の抑制、早めトイレやトイレの位置確認、家庭内ではトイレ環境の整備などを勧めております。薬物療法は過活動膀胱の中で根幹をなすもので膀胱平滑筋の弛緩作用を有する抗コリン剤や $\beta 3$ 受容体刺激薬が主な薬剤です。排尿状態をコントロールすることとなりますが、治癒することは困難で、副作用もありますので、患者さん個々に合わせた治療となります。



PSAについて

住民健診におけるスクリーニング検査として、血清PSA測定が行われています。PSAの感度は約80%で前立腺癌を発見できるもっとも有効な検査となっております。PSAとは前立腺特異抗原（Prostate Specific Antigen の略）で、前立腺内に含まれるタンパク質です。このタンパク質が血液中に漏出した量を測定した値が、PSA値となります。癌以外でも前立腺肥大や前立腺炎では高値となります。前立腺癌は血尿や排尿障害を起こすことがありますが、かなり進行しないと症状は伴いません。PSA検査は症状の出ないうちに癌を見つける手段で早期発見に有用です。一方、PSA値が上昇しない前立腺癌もあります。更にPSA高値で発見される前立腺癌の中には患者さんの生命に影響を与えない癌も発見してしまうことがあります。このようにPSAは前立腺癌の発見には非常に有用な検査となっております。

前立腺癌の確定診断には前立腺生検が必要です。これは麻酔にて疼痛軽減した上に、超音波で前立腺を観察下に細い針で前立腺の組織を取り、癌の診断を行う検査です。感染や血尿や血精液が起こることがありますが、重い合併症はほとんどありません。癌が小さく針が偶然に前立腺癌に当たらない可能性があり、定期的PSAの推移を観察する必要があります。



歯科口腔外科について

当院の歯科口腔外科は歯科として昭和43年に開設されました。その後平成9年より歯科口腔外科を標榜し、現在に至っています。

外来診療は原則紹介予約制で、私も含めて歯科医師常勤3名体制で日常診療を行っております。また千葉大学医学部附属病院 歯科・顎・口腔外科からも支援を頂いて、他に歯科衛生士、看護師、受付など周囲のスタッフとも協力し、診療を行っています。歯科口腔外科は主に顎や口の中、その周囲の病気を対象に外科的治療を中心とした診療を行っています。例えば親知らずなどの抜歯、転倒などによる外傷・歯の損傷・顎骨骨折、顎や口の中のできものや膿が溜まった時など口や顎に異常を感じたり、指摘されたりした方が受診されます。またその他にも、全身の病気などのため近隣の歯科医院では治療が困難な方などで、当科で対応可能な方の歯科治療も行っています。最近では手術後や入院中の誤嚥性肺炎などの合併症や抗癌剤などの化学・薬物療法中の細菌感染症を防ぐ目的等で、入院中や通院中の方に口腔ケアを行っています。これからも地域の方々の歯科医療に貢献できるよう頑張っていきたいと思っております。



尿器科・歯科口腔外科のご紹介

眼瞼下垂治療のススメ

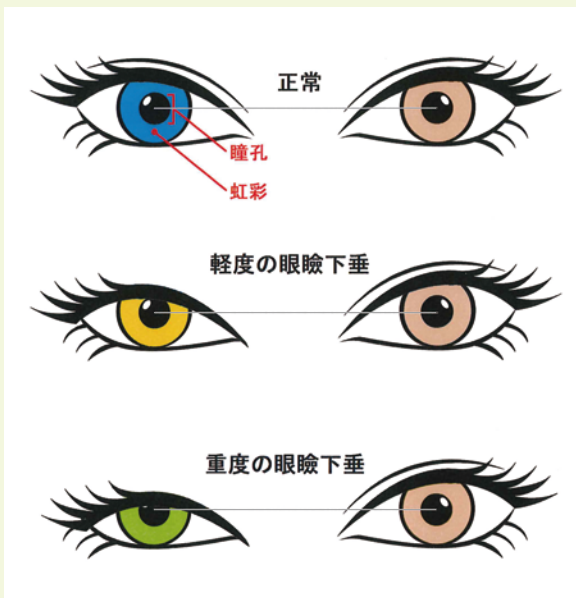
眼瞼下垂はウマブタが十分に上がらず、モノが見にくい病態を指します。

マブタにある眼瞼挙筋とミュラー筋が直接マブタを引き上げています。加齢によってこの筋収縮がうまくマブタに伝わらなくなると眼瞼下垂が発症するのですが、このときオデコの前頭筋が眉毛といっしょにマブタを引き上げて視野を確保するようになります。高齢者のオデコの深い皺はこうした長年の前頭筋の収縮の結果です。

加齢性の眼瞼下垂は徐々に進行します。無意識のうちに前頭筋が代償性に収縮してしまうため、下垂の進行に本人は気が付きません。前頭筋の代償性収縮では足りなくなり、瞳孔にマブタが覆い被さってしまうまでは不自由なく過ごすことができます。しかし、こうした隠れ眼瞼下垂（造語）が「頭痛」、「肩こり」、「頭が重い」、「イライラする」、「疲労感が取れない」などの何となく体調

が悪いといったことの原因となることがあります。NHKの「ためしてガッテン」でも紹介され、原因不明の体調不良の方々が形成外科を受診することが一時期続きました。セロハンテープで下がったマブタを引き上げながらご家庭で過ごしていただき、これらの症状が改善するようであれば、ぜひ手術を受けるようにお勧めします。

人間は目を開けてたくさんの情報を得て生活をしています。楽に目が開くことは当たり前のようですが、とても大切なことです。ご不自由がございましたら、保険診療ですので形成外科にご相談ください。



形成外科部長
力久 直昭
りきひさ なおあき

皮膚科の診療について

皮膚科は、頭から足のつま先まで全身を覆う皮膚のみではなく、爪や毛髪などを担当する科です。直接見て触れることができ、診断の助けとなる点が特徴的といえます。

皮膚科を受診される患者さんは、湿疹や蕁麻疹、にきび、水虫、イボ、タコ（胼胝）などが多くを占めますが、あまり馴染みのない感染症、脱毛症、炎症性角化症、薬疹、血管炎、皮膚腫瘍、皮膚がんなど、疾患の範囲は多岐にわたります。

慢性的に経過する疾患が多いため、生活指導や外用指導が重要となりますのですが、特に外用については、不必要な部位に強い薬を外用されている、必要な薬がほんの少量しか外用できておらず症状が全く改善していない、などということがしばしば見受けられます。

また、ステロイド外用剤に対する誤った知識をお持ちの方は、依然として少なくありません。適切な治療により健やかな皮膚を保っていただけるよう、問診やスキンケアの指導は丁寧に行うよう日々心がけております。

現在外来診療は、常勤医師1名と非常勤医師1名で月～金曜日まで行っております。皮膚がかゆくて困っている、できものを切除したいなど、何か皮膚症状でお困りなことがありましたらお気軽に受診いただければと存じます。より高度で特殊な検査や治療を要する患者さんは、千葉大学病院など関連病院にご紹介させていただきます。



皮膚科医師
及川 真喜子
おいかわ まきこ

最新かつ高機能な放射線治療装置(TrueBeam)が導入されました！

最新かつ高機能な放射線治療装置（TrueBeam）が7月より稼働いたしました。皆様はこの装置の御紹介をさせて頂きたいと思っております。

今回当院に導入された放射線治療装置は、バリアンメディカル社製の「TrueBeam」というリニアック装置です。治療計画装置もバリアンメディカル社製の「Eclipse」に更新され、同一メーカーによる機能を最大限に発揮できる統合されたシステムとなりました。治療計画CTはシーメンス社の「Somatom Scope Power RT-Pro」という4DCTを搭載した16列の治療計画専用のCTとなっております。4DCTは肺、肝、膵、腎、胃など呼吸性移動の大きい臓器に対し、呼吸位相の異なるCT画像を同時に撮影できるほか、CT画像の動画を作成して呼吸によるがんの動きを正確に把握することが可能となっております。

TrueBeamは近年の放射線治療への期待に伴い、従来の治療効果を更に高める為に研究開発された放射線治療装置であり、新開発された統合制御により、従来の放射線治療よりも安全性や機能性が更に向上した装置でもあります。主な機能といたしまして、出力エネルギーがX線4種類、電子線6種類に加え、X線の2種類はフラットニングフィルタフリーモードと呼ばれる従来の4倍もの高線量率照射での治療が可能となり、治療目的に合った患者さんの負担を考えた治療の選択が可能となりました。また、治療位置精度確保の機能としてKV-X線を使用した画像誘導による治療位置決めIGRTシステムと、患者さんの呼吸による3次元的な動きを解析して照射する呼吸同期照射システムを備えております。

寝台も従来の4軸から6軸による位置合わせにより高精度の治療が実現可能です。特に、当院では行っていなかった強度変調放射線治療（IMRT）や回転強度変調放射線治療（VMAT）、体幹部定位放射線治療などの、いわゆる高精度治療に本装置の特徴が最大限に発揮されます。腫瘍の形にX線を成型するマルチリーフコリメーターは、より幅広い治療に対応するために5mm幅で最大照射野40×40cmとなるMLCを採用しました。IMRTとVMATによる治療も順次行っていく予定ですがそちらは少し準備期間をいただきたいと思っております。

地域の皆様にもご協力いただき、より良い医療を提供していきたいと思っておりますので、これからも宜しくお願いいたします。



▲ Somatom Scope Power RT-Pro



▲ TrueBeam



▲ 操作室

市民公開講座



リハビリテーション科部長
小沢 義典
おざわ よしのり

5月27日金曜日に2か月毎に開催されている市民公開講座を18時30分より行いました。

5月のテーマは『認知症について』であり、認知症疾患センター長である小沢義典先生による講演が行なわれました。また、認知症で使われるお薬について、薬剤部から説明を行いました。

参加者は50名で、講演内容より、ご年配の方やそのご家族の方の参加者が多くとても熱心に聞いていました。御意見・感想よりとても分かり易く参考になったとの声を頂きました。

小沢先生による講演の内容として、認知症は高齢になれば誰もがなりうる状態である事、運動による認知症の予防の仕方、また認知症の周辺症状（徘徊・妄想・うつ症状等）を改善できる薬がある事や、認知症の進行を抑える薬などがあり治療の選択肢が広がってきています。

その為、早期発見・早期治療が望ましいという事も話されていました。

当院に設置された『認知症疾患医療センター』の取り組みについても紹介して頂きました。

講演の最後に質疑応答の時間もあり、認知症に関する質問が寄せられ大変有意義な時間を過ごされたのではないのでしょうか。

次回は、7月22日金曜日18時30分より1階正面玄関ホールにて開催予定です。

今回のテーマは腫瘍血液内科部長の原暁先生による白血病についての講演とお薬についてのお話を薬剤部より行う予定です。興味のある方は、参加無料ですので是非ご参加して下さい。

地域医療連携室のご紹介



地域医療連携部看護師長
菅岡 陽子
つるおか ようこ

地域医療連携部では、院内の総合的な相談窓口として、患者さんが安心して医療を受けることができるよう看護師・医療ソーシャルワーカー・事務員が協働し、「患者サポート体制の充実」に向けた取り組みを行っています。その中でも、通院中や退院後の療養支援については、現在急速に進む少子高齢化等の社会的背景に向けた施策として、在宅療養への推進が求められるようになりました。しかし、このような社会情勢からの動きのみならず、病気を持った人でもその人がその人らしく快適に過ごせる場所は、やはり住み慣れた家であると考えます。その為私達は、「病気があるから」「歩けないから」と自宅への選択をあきらめざるを得ないと苦慮されている患者さんやご家族に対して、院内の多職種や地域との連携を積極的に行い、自宅での生活が継続できるよう支援しています。今後も患者さんや患者さんを支えるご家族の、安心・満足できる生活に寄り添う事ができるよう努めていきたいと思っております。



ろうさい mini News



患者情報・図書コーナーのご紹介



待ち時間の有効活用に、患者さんがご自分で、病気のことや、その治療方法を調べることができるコーナーとして、患者情報・図書コーナーを2階リハビリテーション科手前に設置しました。医療情報の検索用に、パソコンを2台開放（閲覧サイトの制限あり）しております。また、各種医療に関するパンフレットを用意し、部数に余裕のあるものは、お配りしております。図書につきましては、医療に関するものだけではなく、一般小説も置いています。外来診療待ち時間を利用してどうぞご覧になってください。

どなたでもご利用いただけますので、お気軽にご利用ください。



▲PCスペース



▲図書スペース



患者さんへのお願い

当院は地域の急性期病院として、診療所では対応しきれない重症患者さんに対応する役割を担っています。そのため、急性期の治療が落ち着き、病状が安定した患者さんは、お近くのかかりつけ医へご紹介させていただいております。

紹介後、万が一、病状が変化してきた場合は、かかりつけ医からの紹介により再び当院で診療することができます。

何卒、ご理解いただけますようお願い申し上げます。



連携登録医のご紹介

三橋歯科医院

院長 みつはし 三橋 ゆたか 裕 先生



こんにちは。市原市牛久にある三橋歯科医院で院長をしております、三橋裕と申します。

主に予防歯科、成人矯正、小児矯正、小児歯科、補綴（審美や機能回復）を専門として歯科医療を行っております。

ご家族が安心して長年通って頂ける地域密着型の医療をしていく事が、私の理想であり、予防と治療ができる歯科クリニックを目指して頑張っております。

「患者さんと共に歳をとる」ことを大切に、末長いお付き合いができる歯科クリニックを作り、良い医療を提供し続けることを、スタッフと共に努めております。

超高齢化社会に対して、しっかりとした準備をする必要があると感じ、微力で地道ですが、毎日継続して最先端の医療情報を発信し続けております。

従来の歯科治療では、口腔疾患の再発が懸念されるため、予防型の歯科クリニックを目指し、歯科先進国であるスウェーデンを始め、欧米で研修を重ね、その技術を広めております。また、むし歯治療、歯周病治療、歯根の治療においては、細部までマイクロスコープを使用し、治療を行っております。

歯科医師がいて本当に良かったと思っただけの方が1人でも多くなるのが、私の目標です。

千葉ろうさい病院とは、医科歯科連携において、特に歯科口腔外科の先生方には、大変お世話になっております。この場をお借りして、御礼申し上げます。

貴院の益々のご発展をお祈り申し上げます。

三橋歯科医院 診療案内

〒290-0225 千葉県市原市牛久550-5

電話番号 **0436-92-1305**

診療科目 一般歯科、小児歯科、矯正歯科、インプラント・口腔外科、
審美歯科、ホワイトニング、義歯・入れ歯、歯周病治療、予防歯科

診療時間		月	火	水	木	金	土	日・祝
午前	8:30~12:00	○	○	○	休	○	○	休
午後	2:00~ 6:00	○	○	○	休	○	△	休

※平日の受付は午後5:30まで

※土曜日午後は午後5:00まで診療（受付は午後4:30まで）

【休診日】木曜日・日曜日・祝祭日

千葉ろうさい病院 理念

基本理念

私たちは、地域の人々、勤労者の方々に高度で安全な医療を提供します。

基本方針

1. 患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療を提供します。
2. 急性期医療・予防医療を担い、基幹病院として地域医療に貢献します。
3. 働く人々の健康を守り、社会復帰を支援します。
4. 豊かな人間性と高い技能を備えた医療人の育成をはかります。
5. 明るく向上心に満ちた職場をつくります。



リハビリ
美術館

「メジロ」

作／中根洋介さん

編集
後記

早いものでもう7月。初夏の風も爽やかな今日この頃……これからが夏本番です。

日増しに暑くなり、そろそろ蝉の声がBGMのように聞こえてきそうですが、皆様お変わり有りませんか？子供の頃は、夏を待ち遠しく感じていましたが、今は暑さに悲鳴をあげてしまう毎日です。熱中症に食中毒と、日々の生活で気を付けたいことも多い季節ですが、もうちょっと季節を楽しめる余裕が持てるといいなあと感じています。

日々の生活に「楽しかった、嬉しかった、美味しかった」を少しでも増やせるよう心がけたいですね。

広報委員会 大竹 寿子（看護部）